

不屈の闘い12年 — 反動社長を退陣に追いこみ 勝利へむかう本山闘争 反撃から追撃へ!

日刊 勤労千葉

82.3.25

No.1001

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・八) (公衆) 品三三二七三〇七

3.28三里塚決起と固く結合し、 全金本山3月追撃戦の勝利へ!

三月二二、二三の両日、東北仙台現地では全金本山闘争勝利全国総決起集会が開かれ、四六団体、一五〇余名が結集し、成功裡に勝ちとられました。勤労千葉からも本部吉岡組織部長他青年部代表が参加し連続闘争を貫徹しました。

「三月追撃連続闘争」の高揚に 追いつめられた反動本山資本

全金本山の闘いは、この三月で九十二年目を迎えました。青柳充氏の不当配転拒否↓不当解雇以来、「一人の首切りも許さない」との原則を守り通し、暴力ガードマン導入・ロックアウトに抗して闘い抜いてきました。同時に、右翼的労働「統一」へすでにだれこもうとしていた当時の全金中央・宮城地本による組織統制処分―除名処分―断固対決し一九八〇年二月八日、新労組を結成しこの二年間闘いに次ぐ闘いを連日貫徹してきたのでした。そして昨年三月には本山秀夫社長を退陣に追い込むという大勝利を勝ちとり、このチャンスをガッチリと握りしめ、逃がさず、「反撃」から「追撃」へと転じて本山資本を追いつめてきました。

特に今春三月決算期に照準を合わせた三月追撃連続闘争は六日間、三波にわたって本山資本に叩きつけられ、本山資本はガタガタに揺さぶられてしまっています。又、仙台現地闘争と合わせて東京営業所・大阪支店闘争も強化され、本山資本を全国的に包囲し闘いぬかれています。

本山・勤労千葉を軸に、三里塚を 闘う労働運動力強く前進する

第一日目は、宮城県労働福祉会館において十六時より集会は始められ、冒頭 三月追撃連続闘争の八ミリが上映されました。八ミリ映画は昨年81・3ストの前段で闘われたわが勤労千葉の佐倉・成田の助役機関士導入実力阻止闘争を彷彿させる力対力のぶつかり合いの連続したものでした。映画の興奮がまだ醒めやらぬ中、主催者を代表して八重樫全金本山労組委員長が挨拶し、冬期物資販売の勝利と三月連続闘争報告、そして八二春闘勝利・右翼労働「統一」粉碎の闘いを3・28三

里塚集会の成功をもって勝ちとろうと熱っぽく全参加者に訴えました。

次に、勤労千葉より吉岡組織部長が万雷の拍手をうけ発言に立ち、第一に、今日の反国鉄キャンペーンに対する怒りと国鉄労働者の任務、とりわけ勤労革マルの「働こう運動」に対する徹底断罪を訴え、第二に、3・28三里塚への労働者本隊の決起と必要性を訴えました。

このうち、富山の日本カーバイト工業労組をはじめ、東大演習林職組、都職連帯、山谷統一労組、女川原発反対を闘う仲間、仙台中電、電通労組、TEC労組(千葉)、本支連、東北大等から次々に連帯の挨拶をうけていきました。

基調報告は連帯の挨拶をはさんで全金本山中野書記長から提起され、第一に、本山闘争十二年目の勝利の展望を中心に、三月追撃連続闘争が切り拓いた五つの地平と成果を確認しました。

第二に、3・28三里塚への総決起を訴え、すでに全金本山として独自バスをチャーターし組合員五割動員をすすめているとの報告がされました。

機動隊・右翼ガードマンの弾圧 はねのけ、門前闘争を貫徹

二日目、早朝六時五〇分、北仙台に結集した参加者は、怒りも新たに暴力会社本山製作所正門へとデモをかけ、会社正門にて門前闘争へと決起していきました。この日、本山資本は会社内外に機動隊・私服・デカ・右翼ガードマンを徘徊させるという文字通りの追いつめられた本山資本の姿をあらわにしました。この中を断固として正午近くまで門前闘争を実力貫徹し、このあと全参加者は機動隊の弾圧をはねのけ仙台市中心街の勾当台公園まで市内デモをやりきり総括集会を行ない、3・28三里塚現地での再会を誓い合い帰路へ着きました。

3.28 全力で三里塚へ

政府・空港公団の卑劣な反対同盟解体攻撃「話し合い」攻撃をはねのけて、反対同盟は、今、二期工事阻止・空港廃港において力強く前進しよう。3.28の大爆発で、切り崩し攻撃の根を完全に絶たそう。

- ・3月28日(日)正午、三里塚第一公園
- ・集合 成田運転区・10時、各支部全力。作業衣着用。